

地区社会福祉協議会の取り組みの検証

しもまち地域		ページ
1	入舟地区	1
2	栄地区	2
3	湊地区	3
4	豊照地区	4
5	新潟地区 (旭水地区と合同)	5
6	礎地区	7
7	大畑地区	8
8	旭水地区 (新潟地区と合同)	5
上新潟島地域		
9	鏡淵地区	9
10	白山地区	10
11	浜浦地区	11
12	関屋地区	12
13	有明台地区	13
江東地域		
14	南万代地区	15
15	万代地区	16
16	長嶺地区	17
17	沼垂地区	18
みなみ地域		
18	鳥屋野地区	19
19	上山地区	20
20	女池地区	21
21	上所地区	22
22	紫竹山地区	24
23	笹口地区	25
24	山潟地区	26

1. 入舟地区

1. 目標・目指す姿

- ①集える場所が増え助け合えるまち
- ②若者や子どもや高齢者などみんなが共存できるまち
- ③空き家を含めて将来に備えみんなが考えられるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 顔の見える地域づくり	福祉文教部会の次回予定（お楽しみ会的なイベント） 開催日：令和5年3月19日 開催場所：コミセン206号室
② 多世代交流	① 春季ふれあいウォーキング （福祉文教部会主催/令和4年5月29日開催） シティガイド付きでしもまち地域の名所4コースをウォーキング。 参加者：シティガイド11名、参加者51名（子ども8名参加） ② 秋季ふれあいウォーキング （福祉文教部会主催/令和4年10月2日開催） 春季と同じくシティガイド付きで、しもまち地域の名所4コースをウォーキング。内容は春季と変更あり。 参加者：シティガイド10名、参加者40名（子ども3名参加）
③ 将来に備えよう	① 自主防災会防災訓練 実施日：令和4年10月30日 午前9時～正午まで 会場：新潟柳都中学校 参加人数：1自治会、町内会5名 合計155名 訓練内容：避難所運営訓練、火災対応訓練 ② 入舟地区はいかい模擬訓練の実施（令和4年9月28日）

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無 （詳細も記入）
地域福祉活動計画を検証する会を毎年開き、進捗を確認し、取り組み方については適宜修正していく。	コロナ禍の為、進捗の確認等について話し合う機会が設けられなかった。

2. 栄地区

1. 目標・目指す姿

- ①世代交流の活性化
- ②ふれあいの場（機会）の確保
- ③人材の育成・他機関との連携強化

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 世代交流の活性化	・児童と高齢者、婦人会とのマッチング計画を立てて交流を深めていくよう、取り組みの実施を試みたが、令和4年度もコロナ感染拡大により行事を計画できなかった。
② ふれあいの場（機会）の確保	・コロナ感染症に注意し、ソーシャルディスタンスを守って、お茶の間・サロン・婦人会との地域交流の場（研修会、座談会、講演会）を開催した。 1 にいがた未来ポイント制度 健康ウォーキング 4/2～12/20 2 防災訓練3年ぶりに実施 担架搬送訓練、高齢者誘導訓練、心肺蘇生訓練 10/30（日） 3 防火座談会コミ協役員、婦人会 DVD 研修 4 特殊先被害から守る研修会（DVD 鑑賞） 5 フレイル健康診断研修会 健康福祉課佐藤保健師 6 お口の健康お茶の間サロン講演会 9/14（水）健康福祉課 7 歳末助け合いお茶の間サロン 11/16（水）座談会・食事会 8 4年度ふれあい事業（見守り・生活支援）助成金 12/25（水） 9 お茶の間サロン講演会 年末の防犯、戸締りについて 12/14（水） 10 お茶の間サロン講演会 中国の生活について 1/18（水）
③人材の育成・他機関との連携強化	・地域の婦人会を育成し、組織づくりに努め、健康・フレイル予防教室を発展させた。 ・コミ協活動を支える人、役員を見つけ活性化、女性役員を増員するために、声掛けをした。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
毎年、地区社協の役員が集まって進捗を確認する。	令和5年3月に地区社協役員が集まり、各研修会等確認する。

3. 湊地区

1. 目標・目指す姿

- ①生活の中に相互扶助の力があって住みやすいまち
- ②若い世代の子育てにも配慮のある安心・安全なまち
- ③住民の多様な声に対処できるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 相互扶助	・「地域の茶の間」「花めぐり」「健康講座」は実施できた。
② 子どもの安心安全	・登校時の見守り活動は実施したが、活動者を増やせなかった。
③ みんなが参加するイベント	・ラジオ体操は実施できたが、マジック&もちつき大会は、コロナを心配して実施しなかった。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
コミ協総会等の事業報告（年1回）の際に進捗を確認する。	・5月開催予定のコミ協総会で、事業報告を行う予定。

4. 豊照地区

1. 目標・目指す姿

- ①福祉・厚生部会（構成4団体）の連携を密にして、助けを求める人を網の目から漏らさないよう支援
- ②災害時における避難支援の拡充
- ③向こう三軒両隣のお付き合いがスムーズで、住んでいてよかったと思える環境づくり

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 安心・安全	・避難所のなかった当地区に、漸く旧豊照小体育館を避難所として利用できる許可をいただいた。 今後は安心して、和やかに過ごせる場所となるよう、コミ協を挙げて運営の組織を構築するつもりである。
② 緊急時の避難支援	・今年度避難訓練は開催できていないが、災害時には「行政から支援が受けられるとは思えないでください」と言われている。ならば各町内で対処するほかない。命を守るため、各町内会長に働きかけ、垂直避難か堅牢な建物への誘導を徹底するようお願いする。
③ 多世代の地域活動への参加	・コロナ禍のため、夏祭り・クリーン作戦・ミニ運動会・敬老会等、残念ながら総てが中止せざるを得なかった。その中でも、日曜日の午前中に体育館を開放して、各年代の人が、それぞれスポーツを楽しんでいた。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
年に一度コミュニティ協議会福祉厚生部の役員が集まり計画の振り返りを行う。	・総てのイベントが中止となり、したがって福祉四部会として、検証する材料がなかった。

5. 新潟地区（旭水地区と合同）

1. 目標・目指す姿

- ①高齢者も若い人も夢のある街
- ②多世代が交流できる街
- ③地域みんなが集う場所のある街
- ④お互いに助け合い・協力できる街

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 高齢者も若い人も夢のある街	・附属小学校主催の地域のお茶の間が開催され、地域の方々と交流を深めた。（新潟地区） ・新潟小学校の5年生とのコミ協を通じての交流で、生徒が育てた「寄居かぶ」を使ったカレーライスを保護者と一緒に食べるなど、世代間交流に努めている。（新潟地区）
② 多世代が交流できる街	・PTA を中心とした「もちつき大会」がコロナ対策で開催できず、関係団体の協力を得て、全校生徒に「大福もちセット」を配布した。配付理由を説明するなど世代間交流に努めている。（新潟地区） ・8月に新潟小、鏡淵小、附属小の児童およびその保護者、町内会有志約80人で、マリンピア協の松林の草取りを計画したが、猛暑のため、前日に中止せざるをえなかった（旭水地区）
③ 地域みんなが集う場所のある街	・コミハウスで古町芸妓のおどりを見たり、芸妓との対話の場を設けるなど、高齢者が関心を持ちそうなテーマでの集会をセットして、楽しんでもらっている。（新潟地区） ・正式な茶の間はまだ開けないが（コロナのため）、2～3名ずつ、個別・自発的な茶話会が行われた。（旭水地区）
④ お互いに助け合い・協力できる街	・寄居中学校の防災力アップ研修講習会にコミ協や赤十字と協力参加して応援するなど、地域の世代を超えた協力体制作りにも努めている。（新潟地区） ・災害時の助け合い等について、少しずつではあるが、話し合いを始めた（旭水地区）

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
毎年総会等の機会に計画の進捗を確認し、取り組み方については適宜修正していく。	・5月頃に予定している総会時に、活動内容、結果を報告説明して、会員各位には少しでも理解、協力してもらえよう努めていきたい。（新潟地区） ・役員会で確認した（旭水地区）

6. 礎地区

1. 目標・目指す姿

- ①自治会・町内会の活性化～地域の人との交流が図れるまち～
- ②健康を保てるまち
- ③声かけしあえるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 地域の交流	・コロナ禍の為、地域の主要の行事が開催できなくなり、今後は行事の見直しを図り、地域の人達と交流の場を多くできるように取り組んでいきたい。
② 住民の健康	・三世代交流運動会・敬老祝会等開催できなかったが、ラジオ体操・医療キット配布時に健康の啓発を行うことができた。
③ 住民同士の声かけ	・各町内で見守り・声掛けに取り組んだ。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
毎年の総会等の機会に計画の進捗を確認し、取り組み方については適宜修正していく。	・コロナ禍の為、総会時に修正した行事は開催できなかったけれど、今後も各町内会とのコミュニケーションを図りながら、取り組んでいきたい。

7. 大畑地区

1. 目標・目指す姿

- ①ご近所でお互い支え合い、助け合うまちづくり
- ②誰もが安心・安全に暮らせるまち
- ③みんながいきいきと生活し、気軽に交流できるまち
- ④災害時にみんなで助け合う体制づくりがあるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 交流の活性化	・コロナ禍のため、地域交流の場をつくることが中々できなかった。
② 見守り	・各自治会で高齢者の方への声がけをしてもらっているが、全体で支援ができるように体制を整えていきたい。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無 （詳細も記入）
毎年の総会等の機会に計画の進捗を確認し、取り組み方については適宜修正していく。	・コロナ禍のため進捗の確認や取り組み方について、話し合う場がなかった。次年度には機会を設けたいと思う。

9. 鏡淵地区

1. 目標・目指す姿

- ① 困りごとを気軽に相談できるまち
- ② 声掛け・あいさつをして、安心して暮らせるまち
- ③ 住民同士の交流を盛んに行い、みんなが知り合えるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 困りごとを気軽に相談できる	・ 民生委員の朝のあいさつ運動や、ゴミステーションでのあいさつで、地域が活発になっている。 ・ 地域の茶の間の仲間づくりや、町内の行事も再開されることにより、困りごとなど気軽に相談しやすくなっている
② 安心・安全なまちづくり	・ 学校の近くの広範囲に落書きをされたり、夜中に盗難事件が起こったりしているので、防犯カメラを設置してもらいたい。維持費の問題がある。 ・ 町内によっては、若い世代が役員をしているが、高齢者が多い町内は、空き家も多くなり、町内役員、民生委員のなり手もいなく、困っている現状がある。
③ 住民同士の交流をつくる	・ コロナも少し落ち着き、三世代運動会、ふれあいコンサート、ダンス発表会、講演会など再開され、喜ばれている。今後も継続していきたい。 ・ 豆まきは中止となったので、来年度は開催したい。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無 （詳細も記入）
コミ協と一緒に年に1度集まり計画の進捗確認を行う。	・ コミュニティ協議会と地域の人と一緒に、令和5年1月28日に振り返りの会議を開催した。次年度も開催予定。

10. 白山地区

1. 目標・目指す姿

- ①声掛け・あいさつのあふれるまち
- ②行事にみんなが集う世代交流
- ③向こう三軒両隣助けあいで安心できるまち
- ④高齢者が活躍できるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 声掛け・あいさつ	・毎月の友愛訪問時等に、ふれあいサロンやお茶の間行事に参加してもらうよう要請。初めて参加される方が徐々に増えてきている。
② 行事に集い世代交流	・白山小学校創立 90 周年を記念し、地域の清掃活動を実施。小学校から高齢者まで多くの方々が参加し、一緒に汗を流した。
③ 助けあい安心のまち	・コロナ禍ではあるが、久々に敬老お祝い会を開催。マンション住人及び高齢者の方々も数多く参加された。
④ 高齢者が活躍できるまち	・子ども見守り隊や除雪活動等に高齢者が多く活躍している。白山コミ協で新しい行事を考案し、多くの方々から参加を得た。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
地区社協説明会の時に振り返る。	・自治会・町内会長との連絡会を開催し、地域の問題、福祉のあり方を含めて検討会を実施。地区社協説明会は残念ながらできなかった。

1 1. 浜浦地区

1. 目標・目指す姿

- ①住んで良かったと思えるまち ～住み続けたい、憧れる地域でありたい～
- ②世代間交流が活発なまち
- ③高齢者が自ら地域活動に参加し、安心して暮らせるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 憧れる、住んで良かったまち	・コロナ禍ではあったが、「赤ちゃん誕生を祝う会」は、地区民生委員、コミ協の尽力で、予定通り2回開催。 ・見守り隊による登校時の挨拶が充実。 ・地区民生委員でフードバンクを実施。
② 世代間交流を活発に	・コミ協、育成会、教育コーディネーター等共催で、トリットボール、フロアカーリングを実施。また、植林、除伐を児童・地域住民で実施。 児童・保護者・地域住民との交流の場となった。
③ 高齢者が自ら社会参加しやすいまち	・コロナ禍で「つどい」を始め、自治会においても、各種行事の中止が相次いだ。ウィズコロナに向けて準備していきたい。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無 （詳細も記入）
適宜、コミ協の会議で発表をする。	・コミ協の定例会（原則月1回）に参加。 地域の問題点や要望の発言を行った。今後とも、コミ協。児童民生委員会との一体感を進め、発言を続けていきたい。

12. 関屋地区

1. 目標・目指す姿

- ① みんなが交流し、協力しあえるまち
- ② 子どもたちが生き生きと育つまち
- ③ 健康に暮らせるまち
- ④ 安心・安全なまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① みんなが交流し協力	・お茶の間活動は、コロナ禍により拡げることではできなかったが、開催は継続し、地域交流の場となった。
② 子どもたちがいきいき育つまち	・校区全体の多世代交流事業「敬老会」や「運動会」はコロナ禍により中止した。 ・ヤングケアラー支援について市や区に構想について説明を伺い、茶の間型拠点の開設は見送った。
③ 住民が健康に暮らせるまち	・大人のラジオ体操は継続している。 ・後期高齢者世帯へマスクを配布し、見守り活動を実施した。
④ 安心・安全なまち	・防災訓練はコロナ禍により実施することができなかった。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
毎年リスニング会議等を開き、計画の進捗を確認する。	・リスニング会議はコロナ禍により、開催しなかった。

1 3. 有明台地区

1. 目標・目指す姿

- ①気軽に声をかけあい、おもいやりのあるまち
- ②居場所のあるまち
- ③高齢者と若者が交流できるまち
- ④「新しい生活様式」を実践するまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 声をかけあいおもいやりのあるまち	・地区社協やコミュニティ協議会等が主催する行事等が中止になり、住民同士顔を合わせたり、声を掛合う機会がかなり少なくなっている。
②居場所のあるまち	・かつては大勢の利用者があった地域の茶の間のうち、借家で運営していた茶の間が代替会場の確保が困難になり、休止に追い込まれた入り、利用者数の減少により休止したり、明るい材料がない。 ・コロナ感染症の拡大防止のため、参加者にマスクの着用、手指消毒、会場の定期的な換気に努めるとともにソーシャルディスタンスの確保、衝立の活用など3密の回避に努めている。 ・地域のお茶の間を何とか継続していても、「お茶」も飲めなかったり、お弁当の配布のみに切り替えるなど、お茶の間本来の「居場所」の役割が骨抜きにされている。
③ 高齢者と若者が交流できるまち	・ひまわりクラブの一人帰り支援ボランティアの活動は、ボランティアのワクチン接種、マスクの着用、手指の消毒やソーシャルディスタンス等の感染症対策を実施した上で、休止することなく継続している。利用者に新規感染者が判明した場合は、クラブの支援員と情報の連携を取りながら、乗り切っている。 ・たつまきキッズ（ふれあいスクール）はコロナ感染症拡大防止のため一時休止していたが、昨年暮れから再開したものの、必死に感染症体対策を実施しながらの運営で、担当するボランティアも疲れ切っている。
④ 「新しい生活様式」を実践	・コロナ感染症の影響で収束の見通しが立たないという理由で、一時市の「敬老祝金助成補助金」が休止されていた。再開されたことから、万全な感染対策を行い、一工夫した「敬老祝会」の開催が可能になった。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
目標の各項目について自治会・町内会役員をはじめ町内の住民にアンケート調査を実施し、その結果を回覧する。	・上記②のとおり、コロナ感染症の影響により、様々な活動が中止に追い込まれたことから、住民等に対するアンケートの実施も中止する予定である。

1 4. 南万代地区

1. 目標・目指す姿

- ①ご近所さんの顔がみえるまち
- ②人と人との助けあいやつながり、交流のあるまち
- ③健康で、安心・安全で、暮らしやすいまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 組織の機能強化	・各自治・町内会長の運営委員任命による機能強化・活性化はいまだ準備中。遅れている。
② コミ協会員への加入	・いまだ未加入。コミ協パンフレットを製作し、未加入マンションに配布したが、世代交代の兆しなく現管理組合で満足の模様。
③ 活動行事の宣伝	・コミ協パンフレットを使用して継続。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無 （詳細も記入）
運営委員参加の「組織の強化を検討する会（仮称）」を設置し検証する。	・機能強化を優先

1 5. 万代地区

1. 目標・目指す姿

- ①みんなが気軽に話せる風通しの良い街
- ②住民が地域に関心を持ち、地域行事に参加する街
- ③ハード・ソフト面の環境整備が進む街

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① リーダー育成と拠点の整備	・空き家を活用しているが、集まり場として適した空き家が見つかっていない。
② 企画と広報	・学校・商店と連携し、春と秋に商店街の前のプランターを整備している。
③ 意見の集約と発信	・学校が地域を頼って行事を行ったりと意見を言いやすい関係づくりができています。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無 （詳細も記入）
前回の計画とも照らし合わせながら、地域の話し合いの場で検証する。	・コミ協で月1回定例会を開き情報交換等を行っている。

16. 長嶺地区

1. 目標・目指す姿

- ①元気で長生き～ぴんぴんころりん～
- ②安心安全、活力のあるまちづくり
- ③地域活動の担い手の育成

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 交流と深化	・コロナウイルス感染症対策を実施して、地域の茶の間「たんぼ」料理教室」を月1回、「チューリップ」を毎週開催して、交流の機会を作った。
② 見守りの体制づくり	・ふれあい給食と民生委員の友愛訪問で、高齢者の見守りを行った。 ・毎朝小中学生の登校時に、交通安全指導を行った。
③担い手の育成 意見の集約と発信	・コロナ禍で各種イベントを中止せざるを得ない状況でも、10月に芋煮会を開催して子育て世帯の参加を得た。 ・若手が参加できるイベントを通して、担い手の育成を行ってきたい。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
年に1回、長嶺コミ協地域福祉活動部会にて検証する。	・毎月開催している役員会を、地域福祉活動部会にあて、検証を行った。

17. 沼垂地区

1. 目標・目指す姿

- ①いろいろな人が明るく元気に助けあえるまち
- ②地域と学校が協働できるまち
- ③高齢者の活動が活発なまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 挨拶のあるまちづくり	・土地柄であいさつは行っているが、マスクをして接近しないようにしているので、違和感を感じる。
② 学校との協働	・民児協が中心となって、2 回短い時間であったが情報交換を行った。
③いきいき高齢者 健康維持・介護予防	・「沼垂よりどころ」の会報誌や「なじらね沼垂しんこや」のかわら版や、沼垂今昔を語る会の女性部の今昔サロン等で行っているが、若い世代の参加が少ないため、次の世代が育っていない。次のリーダーの育成が必要である。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
沼垂小学校区コミュニティ協議会で周知をし、福祉部を中心に総会で検証を行う。	・総会は今回も中止になった。 コロナ禍の為に色々と制約があり、結束がだんだんと薄れてくように感じるので、一日でも早くコロナ終息を祈っている。

18. 鳥屋野地区

1. 目標・目指す姿

- ①住民どうしのあいさつと交流があるまち
- ②世代間交流ができているまち
- ③災害時の支援体制が充実したまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① あいさつと交流	・登校時等に交通安全ボランティアの人たちや地域の人と挨拶をしている。 ・地域の茶の間を通して、交流を深めている
② 世代間交流	・コロナ禍で中止になっていた、とやのふれあい祭り・歳末餅つき大会・節分お楽しみ会を開催。 ・昨年から引き続きクリスマスイベントを開催。
③ 災害時の助け合い	・昨年は、コロナウイルスの影響で役員だけの開催だったが、今年度は小学生・中学生・一般の人達にも参加してもらい、開催。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
計画を自治会で配布し、半年に一度くらい見直す場を持ちたい。	2 か月に一度のコミュニティ協議会の役員会で検証を行っている。

19. 上山地区

1. 目標・目指す姿

- ①向こう三軒両隣が生きているまち
- ②小さな活動が積み重なり、あいさつがし合えるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 向こう三軒両隣	・お茶の間活動は変わらず開催している。地域の交流の場となっている。 ・福祉研修会を開催できた。保健師、栄養士を講師として招聘し、地域の福祉と健康について多くの方が学ぶ機会となった。
② あいさつし合える関係づくり	・地域内の自治会・任意団体等へ福祉事業として助成を行った。コロナ禍ということもあり、6件ほどとなったが、感染対策を十分にとり充実した催しを行った。 ・行動制限が緩和されたこともあり、子ども食堂や防災訓練等の活動も感染対策と人数制限等を行いながら実施できるようになってきた。 ・防災訓練では、中学生ボランティアと小学校6年生も訓練に参加し、防災意識とともに地域での自分の役割について考える機会にもなった。 ・各自治会では、清掃活動や除草が行われている。その活動を通して交流の場にもなっている。 ・当地域は、集合住宅など転入世帯が多く、世代間の交流が希薄とも言える。コミュニティ協議会と連携しながら、コミュニケーションを図る方法を検討していきたい。 ・コロナ感染症への危機感を多くの人が依然として抱かれているので、飲食を伴うものはまだ敬遠されている。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
6年計画は長いので振り返る機会を持ち、課題があれば見直していきたい。	コロナ禍であるが、行動制限緩和により、役員等が集まる機会も増えつつある。

20. 女池地区

1. 目標・目指す姿

- ①安心・安全で住みやすいまち
- ②みんなで声をかけあうまち
- ③三世代が地域に根ざすまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
①安心・安全 住みやすいまち	(1) 避難所運営 各避難所（女池小、紫竹山小、鳥屋野中、江南高等学校）において避難所運営に関し、市の職員を交え、現状の確認と今後の課題を検討した。 (2) 見守り隊 総勢 70 人近くの見守り隊登録者が立哨、ながら等の可能な形で子供の通学時の安全確保を実施した。 (3) 医療情報キット 本年度も各自治会から必要個数を申請して頂き、配布を行った。 (4) 草取り活動 例年通り女池校区全体で秋の一斉草取り活動を実施した。
②みんなで声をかけあうまち	(1) 健康体操 65 歳以上の方を中心に、月 2 回の健康体操を開催し、参加者同士誘い合いながら毎回 40 名から 50 名の参加があった。 (2) 地域の茶の間 1 ヶ所増え、全部で 6 団体となり、お互いに誘いながら多数の参加があった。
③三世代が地域に根ざす	(1) 野球大会 10 代から 70 代まで参加する野球大会を本年度も開催し、世代交流を図った。 (2) 女池小学校ふれあいスクール 本年度も引き続き地域住民が多数参加し、子どもたちと交流を実施した。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
6 年計画は長いので振り返る機会を持ち、課題があれば見直していきたい。	毎月の総務部会、役員会のほか、総会資料、及び年 2 回発行のコミ協だより等で、その都度検証している。

2 1. 上所地区

1. 目標・目指す姿

- ①健康寿命を長くするまち
- ②ご近所さんの顔が見えるまち
- ③隣近所の住民同士が語り合え、自然と助け合いができるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 健康寿命を長く	<u>高齢者対象貯金運動(4月～3月)2～3月の見込含む)</u> 毎週金曜日開催：44回、延参加人数：3,350人 対象者の生活質向上のサポート、参加意欲も高く、参加者の健康寿命延伸に寄与している。 <u>健康寿命の延伸がテーマの講演会 10/29(土)</u> 「地域のお医者さんの役に立つお話」 講師：わたなべクリニック院長 渡辺律雄氏 80名の参加を得て生活習慣病の予防について学ぶ。
② ご近所さんが顔見知り	<u>地域の茶の間(5ヶ所)</u> With コロナへ舵を切った年度であった。開催に二の足を踏む茶の間もあったが、年度後半には実施方向。 来年度からは地区社協(コミ協福祉保健部会)として、開催者及び参加者に有効なサポート策を検討の上、実行していきたい、代表者会議の企画など。 <u>各種行事の開催(自治会町内会単位)</u> バーベキュー大会、夏祭り、卒業進級祝いなど開催
③ 語り合いと助け合い	<u>緊急医療情報キットの配布と訪問(22自治・町内会)</u> 新規配付33件含む配布先504件を訪問して安否確認。訪問してくれるのがうれしいなど、温かい地域づくりに貢献している。訪問品に新潟市指定ゴミ袋を配布。 <u>赤ちゃん誕生お祝 10/10(月祝)</u> 中央区の特色ある区づくり事業で協働。26組の保護者と赤ちゃんに記念写真と育児相談で交流が図れた。 <u>袋小路(高齢者)の除雪対応</u> <u>ゴミ出し支援</u>

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
上所コミ協拡大役員会にて検証する。	地区社協（コミ協：福祉保健部会）の活動実績および上所コミ協の加入自治町内会から下記内容を聞き取りして検証 ・上所地区社協：副会長＝コミ協：福祉保健部会長 ・緊急医療情報キットの配布(12年)と訪問（7年）は各自治会町内会を通じて活動を促進している。 ・各種行事、除雪、ゴミ代支援の有無確認。

2 2. 紫竹山地区

1. 目標・目指す姿

- ①多世代の交流があるまち
- ②子どもたちが明るく元気に育つまち
- ③次世代の育成とふれあいづくり

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
①多世代交流	・紫竹山小学校と女池小学校区一部、神道寺地域の自治会と合同で災害避難訓練を実施した。市消防局員と当コミ協防災士4名の元、盛大に行った。
②子どもたちを見守るまち	・育成部員、セーフティスタッフボランティアの方々による児童の登下校に見守りを行っており、本年度も重大交通事故もなく経過する
③次世代の育成とふれあいづくり	・毎月第1金曜日の駅南茶の間は例年通り行っており、子ども達を交えて、昔遊びや今のゲーム遊びなど一緒に楽しんでいる。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
6年計画は長いので適宜振り返り、見直しを行う。	・コロナ禍の為、話し合う機会が設けられなかった。

23. 笹口地区

1. 目標・目指す姿

- ①安心・安全なまちづくり
- ②若い力が育ち、次世代へつながるまち
- ③マンション住民と交流できるまち
- ④身近な地域に交流のある場所があるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 安心・安全なまちづくり	・コロナ禍にあって、今年もセーフティーサポート等、児童見守り活動が地道に継続できている。
② 次世代へつながるまち	・笹口小学校も参加している、けやき通りの光のページェント支援活動を笹口コミ協として行っており、地区社協としても協調参加している。
③ マンション住民との交流	・笹口校区自主防災会を例年より、規模を縮小して実施した。内容としては、ハザードマップについての確認及び勉強会が中心となった。(11月5日)
④ 身近な地域の交流場所	・ほっとハウスを中心として、今できる範囲内での活動を行っている。とりわけ11月28日フレイル健診の講習会を実施し、約30名弱が参加。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無 (詳細も記入)
コミ協・地区社協の定例会の中で事業計画と共に見直しを図る。	コミ協、地区社協の定例会(合同) 原則月1回第3土曜日にて、必要に応じて現状報告とこれからの事案を協議している。

24. 山潟地区

1. 目標・目指す姿

- ①多世代の交流がさかんなまち
- ②地域の人同士が顔の見える地域にしたい
- ③身近な場所・活動拠点で交流ができるまち

2. 行動と工夫

行動と工夫	検証
① 多世代交流	・地域の茶の間・子育てサロンを活用して多世代で交流する。 ・各自治会の活動が活発で、「祭り」や「さいの神」などの行事を行い、世代を超えて交流している。 ・歳末たすけあいお楽しみ会を開催。3年ぶりの開催で大いに盛り上がり交流ができた。
② 地域の人同士、顔の見えるまち	・やまがたお互いさまの活動で、ゴミ出し支援や草取り、雪のけなどの支援活動を通じて支え合いの輪が広がっている。地域包括支援センター山潟と協力・連携したことにより、一層活動しやすくなった。 ・見守り活動として、緊急医療情報キット（ファイル形式）を希望する人に配布。自治会、老人クラブに周知。 ・小学生と一緒にゴミ拾いを行った。
③ 身近にある活動拠点で交流を	・山潟コミ協、自治会、民児委員の情報交換会を継続して開催。 ・地区内の小中学校での学校ボランティアの活動。 ・山潟コミ協、民児協、地区社協が連携して各種事業を推進。

3. 検証の方法

検証の方法	実施の有無（詳細も記入）
・形に現れないものは進捗の確認が難しい。 ・中高生が参加し振り返りを行ってはどうか。	・コロナ禍ではあったが、役員会を随時開催し振り返った。 - 感染症対策をして、事業を縮小してできることを取り組んだ。 ・中高生との振り返りはできなかった。これからは高校生、専門学校校の生徒にもボランティア活動に積極的に参加してもらい、話し合いの機会を設けたい。